

授業科目 社会福祉学特論Ⅲ	科目概要・形式 2単位 30時間(15コマ) 講義科目	配当年次 博士前期2年次 前期開講	オンライン参加 <input type="checkbox"/> 可・不可
科目責任者	工藤 英明		
担当者	工藤 英明、児玉 寛子、瀧澤 透、高阪 悌雄、坂下 智恵、権 順浩、 田中 尚樹、小山 幸		
1. 科目のねらい・目標			
<p>この科目のねらいは、社会福祉分野の特定課題に対する量的・質的資料などを含め、多様な分析方法など理解し、応用する力を身に付けることである。目標は、実施した調査・フィールドワークの結果や量的・質的資料などを客観的に分析し、総合的に考察することができることである。そのための具体的な目標は、次のようである。①量的・質的資料の特徴と分析方法を理解し、適切に選択できる。②実施した調査・フィールドワークの結果を客観的に分析できる。③複数の分析結果を総合的に考察し、研究課題に関連づけて説明できる。</p>			
2. 授業計画・内容			
<p>第1回 オリエンテーション ・科目の目的や授業の進め方、評価基準について説明を行う。各自研究計画の進捗状況と今後の計画について発表を行う。</p> <p>第2回 社会福祉研究における調査・分析の役割 ・社会福祉分野におけるエビデンスの重要性を確認し、量的研究と質的研究の位置づけ、相互補完的な活用について事例を用いて説明、ディスカッションを行う。 課題：収集したデータのコーディング化作業を行う。</p> <p>第3回 データ解釈と妥当性・信頼性確保 ・収集したデータのコーディング化作業の進捗状況を確認する。そして、研究者のバイアスを回避しつつ、量的・質的調査における信頼性・妥当性を担保する方法について説明し、ディスカッションを行う。 ・課題：統計ソフトを用いてコーディングしたデータをもって記述統計分析を行う。</p> <p>第4回 量的データ分析の基礎 ・前回出された記述統計分析内容を発表し、ディスカッション、フィードバックを行う。 ・課題：各自の研究目的・仮説・課題に沿って、相関分析や分散分析、有意差分析などを行う。</p> <p>第5回 量的データ分析の応用Ⅰ ・前回出された統計分析内容を発表し、ディスカッション、フィードバックを行う。 ・課題：各自の研究目的・仮説・課題に沿って、多変量解析（因子分析・クラスター分析等）を行う。</p> <p>第6回 量的データ分析の応用Ⅱ ・前回出された多変量解析内容を発表し、ディスカッション、フィードバックを行う。 ・課題：質的データの逐語録を作成し、NVivoなどのソフトを用いて初期コーディングを行う。</p> <p>第7回 質的データ分析の基礎 ・前回出された課題について発表し、メンバーチェックを通して内容分析、ディスカッション、フィードバックを行う。 ・課題：コーディングした内容を整理し、カテゴリーを形成してテーマを導き出す。</p> <p>第8回 質的データ分析の応用Ⅰ ・前回出された課題について発表し、メンバーチェックを通してカテゴリーと研究の目的などと関連付けてディスカッション、フィードバックを行う。 ・課題：ディスカッション、フィードバック内容を踏まえて、修正加筆を行う。</p> <p>第9回 質的データ分析の応用Ⅱ ・前回出された課題について発表し、メンバーチェックを通してディスカッション、フィードバックを行う。 ・課題：量的データと質的データを組み合わせて分析結果をまとめる。</p> <p>第10回 混合研究法と分析結果のまとめⅠ ・前回出された量的・質的データを組み合わせた統合的分析について発表し、ディスカッション、フィードバックを行う。 ・課題：ディスカッション、フィードバック内容を踏まえて、分析結果のまとめと図式化をする。</p>			

第 11 回 混合研究法と分析結果のまとめⅡ

- ・前回出された課題について発表し、個別研究の目的、仮説、課題に沿ってディスカッション、フィードバックを行う。
- ・課題：個別研究の目的、仮説、課題に基づいて、分析結果を考察する。

第 12 回 研究課題との関連づけと考察Ⅰ

- ・前回出された考察課題について発表、ディスカッション、フィードバックを行う。
- ・課題：ディスカッション、フィードバック内容を踏まえて、考察内容を修正加筆する。

第 13 回 研究課題との関連づけと考察Ⅱ

- ・前回出された課題について発表、修正加筆内容の確認、ディスカッション、フィードバックを行う。
- ・ディスカッション、フィードバック内容を踏まえて、考察内容を修正加筆しつつ、調査研究の意義と課題について考察する。調査成果発表に向けての資料を作成する。

第 14 回 発表準備と相互評価

- ・前回出された課題について発表し、研究計画発表会に向けてディスカッション、フィードバックを行う。
- ・課題：研究計画発表会に向けてディスカッション、フィードバック内容を参考にして、資料を加筆修正する。

第 15 回 成果発表と総括

- ・研究計画発表会に調査の結果を報告する。
- ・社会福祉学特論Ⅲの総括と社会福祉学特論Ⅳのガイダンスを行う。

3. 教科書、参考書

指定の教科書は設けず、各科目担当者が随時必要な文献を指示する。

4. 成績評価方法

- ・発表資料 (40%)
- ・模擬発表 (30%)
- ・授業内演習・討論 (30%)

5. 受講要件

- ・統計学や社会調査の基礎知識を有していることが望ましい。
- ・社会福祉学特論ⅠとⅡを履修した者のみが履修できる。
- ・社会福祉士の資格を有する者は、認定社会福祉士制度のその他科目研修（論文指導系科目群）8単位のうち、2単位となる。
- ・認定社会福祉士制度のその他科目研修（論文指導系科目群）8単位を履修するためには、社会福祉学特論Ⅰ～Ⅳのすべての科目を履修しなければならない。

6. 社会人学生に対する配慮

受講者と相談した上で、夜間開講、土日開講、夏季集中講義などを検討する。詳細については指導担当教員の指示に従ってください。

7. その他

- ・本科目は、特別研究または課題研究の指導担当教員が担当する科目です。詳細については指導担当教員の指示に従ってください。
- ・オンデマンドは不可とします。
- ・データ分析は単なる技術ではなく、「課題をどう理解し、どう説明するか」という研究の核心部分です。本科目では、実際の社会福祉課題を題材に、量的・質的データの分析と考察を行います。研究成果の説得力を高めるために、実践的に学びましょう。